

平成 15 年 3 月期第 1 四半期の業績等の概況（連結）

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン
 上場取引所(所属部) 大阪証券取引所・市場第二部
 (コード番号 7608)
 本社所在地 大阪府中央区上町一丁目 3 番 10 号
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役管理部長
 氏 名 川 上 優
 T E L (06) 6765-0670

1. 業 績 (千円未満切捨て)

(1)平成 15 年 3 月期第 1 四半期(平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 6 月 30 日)の業績

	14 年 3 月期第 1 四半期 (前年同四半期)	15 年 3 月期第 1 四半期 (当四半期)	対前年同期増減率	参考 前期(通期)
売上高	千円 1,288,003	千円 1,857,074	% 44.2	千円 6,393,359
営業利益	64,496	106,092	64.5	452,043
経常利益	64,144	99,369	54.9	425,075

(2)販売の状況

業態別売上高

(単位:千円、%)

			14 年 3 月期第 1 四半期 (前年同四半期)		15 年 3 月期第 1 四半期 (当四半期)		参考 前期(通期)	
			売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
ア ミ ユ ー ズ メ ン ト	オ ペ レ ー タ ー	メーカー系	110,350	8.6	126,244	6.8	588,153	9.2
		量販店系	58,994	4.6	91,169	4.9	364,794	5.7
		ショッピングセンター系	104,992	8.1	178,047	9.6	604,366	9.5
		路面店	666,589	51.7	995,611	53.6	3,149,341	49.2
		遊園地等	25,651	2.0	21,131	1.1	104,821	1.6
	ディスプレイコーナー	91,358	7.1	97,157	5.2	497,345	7.8	
	S P 部門	15,392	1.2	38,215	2.1	105,245	1.7	
小 計			1,073,329	83.3	1,547,577	83.3	5,414,068	84.7
物 販	問 屋		21,373	1.7	52,914	2.9	129,219	2.0
	小売店		193,299	15.0	256,582	13.8	850,071	13.3
	小 計		214,673	16.7	309,496	16.7	979,290	15.3
合 計			1,288,003	100.0	1,857,074	100.0	6,393,359	100.0

(注) 1. メーカー系とは、アミューズメント機器を製造している企業のことです。

2. 量販店系とは、大手量販店(スーパー等)のアミューズメント部門のことです。

3. ショッピングセンター系とは、量販店やショッピングセンターのテナントとして店舗展開してい

る企業のことです。

4. ディストリビューターとは、アミューズメント施設へのアミューズメント機・景品等の販売を主業とし、アミューズメント施設を運営していない法人または個人のことです。

5. SPとは、セールスプロモーションの略称であり、SP部門は企業プレミアム商品の企画・販売を担当する部署のことです。

6. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

商品分類別売上高

(単位：千円、%)

	14年3月期第1四半期 (前年同四半期)		15年3月期第1四半期 (当四半期)		参考 前期(通期)	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
自社企画商品	31,216	2.4	24,616	1.3	113,633	1.8
キャラクター商品	279,245	21.7	395,815	21.3	1,212,775	19.0
仕入商品	977,540	75.9	1,436,643	77.4	5,066,950	79.2
合計	1,288,003	100.0	1,857,074	100.0	6,393,359	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 主な資産・負債の変動について

項目	15年3月期第1四半期	増減額	前期末
(資産)	千円	千円	千円
棚卸資産	484,520	365,452	119,067
(負債)			
買掛金	1,081,987	486,473	595,513
短期借入金	372,167	93,819	278,348
未払金	74,938	45,945	120,883
未払法人税等	45,607	102,032	147,639
賞与引当金	64,939	29,232	35,706

(注) 当四半期及び前年同四半期に係る数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

2. 業績の概況

(1) 当四半期の状況

当四半期の売上高は、アミューズメント業界向け販売事業・物販業界向け販売事業ともに好調であり、1,857百万円(前年同期比44.2%増)、経常利益99百万円(前年同期比54.9%増)と増収増益となりました。

(2) 部門別の状況

〔アミューズメント業界向け販売事業〕

当四半期におけるアミューズメント業界向け販売事業は、チェーン展開している取引先へ特に販売強化した結果、量販店系・ショッピングセンター系オペレーターへの売上高は、それぞれ前年同期比54.5%・69.6%増と大幅な増収となりました。また、路面店への売上高も、多店舗展開しているオペレーターへの積極的な営業活動を推進した結果、前年同期比49.4%の増加となりました。全体を通じては、当期の課題であった商品企画と営業力のかみ合った取り組みが強化されたことで、これまで後手に回っていた予約販売の比率が高くなったことが結果につながりました。また商品面では、オリジナル商品の売上高上位を頭文字(イニシャル)Dが独占しており、当四半期好調の要因となりました。

S P部門は、業種を限定せずにさまざまな企業に販路を広げ営業活動を行った結果、カバンメーカー、広告代理店、外食チェーン、お菓子メーカー等に商品が決まり、売上高は38百万円（前年同期比148.3%増）と大幅な増収となりました。

以上の結果により、売上高1,547百万円（前年同期比44.2%増）と増収となりました。

〔物販業界向け販売事業〕

当四半期における物販業界向け販売事業は、主力である携帯電話関連グッズが低迷するなか、バラエティー雑貨（ぬいぐるみ・ホーム雑貨等）とキーホルダー類に新しい商材を積極的に投入し、品揃えの拡充と販売強化を図りました。

また大手チェーン店との取引の拡大、既存の得意先の新店舗開店等による売上の増加もあり、携帯電話関連グッズは95百万円（前年同期比0.1%減）と不振ではありましたが、バラエティー雑貨が、118百万円（前年同期比97.4%増）、キーホルダー類が、91百万円（前年同期比64.2%増）と前年の実績を大きく上回ることができました。

以上の結果により、全体の売上高は309百万円（前年同期比44.2%増）と大幅な増収となりました。

3. 当期の見通し

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通 期	7,000 百万円	458 百万円	249 百万円	56 円 07 銭

4. その他

該当事項はありません。